

快適環境創造へ力発揮

第35回通常総会

当協会は5月25日、福島市のホテル辰巳屋で第35回通常総会＝右写真＝を開き、省エネルギー・リニューアル推進のための取り組みや、公共事業予算の継続的確保に向けた意見・要望活動、担い手確保の取り組み等を盛り込んだ30年度事業計画など3議案を承認した。任期満了に伴う役員で松原兼一会長、大内弘之、有賀行秀両副会長を再任し、新体制の下、「地球環境保全と快適な生活環境づくりへの貢献」を目指す松原体制3期目のスタートを切った。



あいさつする松原会長

松原体制
3 期 目

「復興・創生遂行へ支援」

予算、担い手確保重点に

総会の冒頭、松原会長があいさつ。復興公営住宅や復興の拠点施設整備が着実に進むなど、東日本大震災からの再生を目指す「復興・創生期間」が仕上げの段階に入った。一方で、県内では、避難地域の再生や風評被害など課題はまだ山積しているとして「引き続き復興・創生の遂行に向けて支援に努める」と改めて強調した。

協会活動では、入札制度をめぐる諸課題等への対応を図っているが、引き続き県、県議会等への意見、要望を通して「適正価格での受注や発注の平準化、公共工事における継続的な予算の確保等を求めている」と力を込めた。

課題である担い手の確保と定着に向けては「労働環境改善・生産性向上など魅力ある建設産業の実現に向けた取り組みの

地元活用、技術力向上 重点目標13項目柱立て

29年度事業報告および決算、30年度事業計画と収支予算の各議案を審議、了承した。

「エネルギー問題・環境保全への取り組み」「担い手3法への対応」「労働環境改善・生産性向上」などの諸課題を踏まえ、重点目標事業として①会員の収益性向上による経営安定②空調衛生等設備工事の技術力向上③関係行政機関並びに友好団体との連携強化④国・県等の連携強化⑤若年技術者の陳情、請願⑥若年技術者の技能者の確保と育成⑦労働安全衛生の向上を踏まえた環境整備⑧協会活動の広報宣伝⑨IT化社会への対応⑩社会貢献に

の広報宣伝⑧IT化社会への対応⑨社会貢献に



発行所
一般社団法人福島県
空調衛生工事業協会
発行人 松原 兼一
〒960-8021
福島市霞町 9-23
(福島管工事会館)
電話 (024) 526-2036

地球環境保全へ貢献

空調衛生設備工事を通して
地域の復興・創生に協力いたします。
会 員 一 同

平成30年度事業実施細目

第35回通常総会（5月25日 於・ホテル辰巳屋）で決定した30年度事業の実施細目は次の通り。

【会長直轄部門】

- ▽建築設備産業の活性化を進展させ、適正な受注活動を推進するため発注機関との懇談会の開催
- ▽広報パンフレットを媒介とする業界イメージアップ運動
- ▽国、県等行政機関への陳情、請願
- ▽会員企業の労働環境整備を図るため、雇用管理研修会等の開催
- ▽社会貢献等事業の実施
- ▽福島県総合設備協会の活動及び設備3団体との連携強化に関する事業

▽友好団体との連携強化に関する事業

【総務委員会部門】

- 協会の運営及び活動の総括的管理を掌握し、業界活性化のための事業を行う。
- ▽協会活動の基本方針の策定
- ▽財政方針の策定
- ▽組織運営方策の協議
- ▽定款及び諸規程の改正検討
- ▽会員の叙勲、表彰等の選考
- ▽機関紙発行に関する財源の確保
- ▽県立テクノアカデミーへの協力
- ▽会員の親睦事業の実施
- ▽ホームページ運用に関する事項

【経営委員会部門】

- 会員企業の経営基盤強化を図るため、経営安定策として懇談会、研修会等の事業を行う。
- ▽会員の経営体質の強化を図るため、経営改善研修会の開催
- ▽新分野への調査・研究
- ▽若年技術・技能者等の確保と育成のため、業界活動の啓発

【技術委員会部門】

- 建築設備技術の高度化・多様化に対処するため、施工技術の向上、積算歩掛等の実態調査、講習会及び懇談会を開催する。

- ▽公共工事の適正施工を図るため、技術講習会や関係法令勉強会の開催
- ▽高度な設備技術を対象とした特別技術講習会の開催
- ▽新システム（新規受託可能な分野）の技術勉強会等の実施
- ▽工事検査評価と施工指導についての研修会の実施
- 【広報委員会部門】
- 協会の啓発、広報及び会員相互の情報交換を図るため、機関紙「空衛ふくしま」を発行するとともに業界をPRする。
- ▽機関紙を発行するための広報委員会の開催
- ▽建築設備業界の対外的啓発に関する事業の推進

人・街・未来へ

株式会社 小泉東北

代表取締役 野澤 隆一

本 社 〒963-8041
福島県郡山市富田町愛宕前47-1
TEL024(952)1211(代)

仙台営業所 TEL022(372)7002(代)
会津営業所 TEL0242(32)9811(代)
石巻営業所 TEL0225(25)7445(代)
仙台南営業所 TEL022(797)7081(代)
福島営業所 TEL024(572)3699(代)

小泉 〒167-8555 東京都杉並区荻窪4-32-5
TEL03(3393)2511(代)

空調・衛生・管工機材の総合商社

富士機材株式会社

■郡山支店 ■
〒963-0725
郡山市田村町金屋字下夕川原167-4
TEL (024) 941-3621

■いわき支店 ■
〒972-8316
いわき市常磐西郷町銭田107-15
TEL (0246) 72-1571

TOTO
代理店

タカムラ
TAKAMURA

〒960-0180
福島市鎌田字卸町13番地の5
TEL (024) 553-1464(代)

営業所
福島・郡山・いわき・会津・水戸
仙台・取手・宇都宮・さいたま
アルテック・未来工房

水道資材総合商社

DAI SAN

太三機互株式会社

本社 〒104-0061
東京都中央区銀座1-19-15
TEL(03)3561-8761(代)

●福島営業所
福島市八木田字榎内23 TEL(024)546-3101
●いわき営業所（仮事務所）
いわき市平上荒川字堀ノ内31-4 TEL(0246)80-7020

SEDIA
SYSTEM

郡山 S C (024)945-2105
会津若松 S C (0242)23-1122
いわき S C (0246)24-2266
福島 S C (024)535-0201
白河 S C (0248)27-2911

元気で快適な生環境を提案する企業です
渡辺パイプ株式会社

今総会では第19期役員を次の通り選任した（新任はゴシック表記）。任期2年。30・31年度の委員会体制も次の通り決定した。

- 【新役員】（新任はゴシック）
▽常任相談役＝本多修二（第一温調工業）
▽顧問＝千葉隆（倉島設備）
▽会長＝松原兼一（三共設備）
▽副会長＝大内弘之（第一温調工業、県北支部長）有賀行秀（北関東空調工業）
▽専務理事＝猪狩哲彦
▽会計理事＝野地一司（野地工業所）
▽理事＝高橋良行（高橋設備工業所）古川敏博（光和設備工業所）根本剛（エヌエス工業、県中・県南支部長）大越健一（大越工業所）小板橋直史（小板橋工業所）坂本憲弘（大倉工業所、いわき支部長）久田貢（久田工業所）安部井省治（ハッ橋設備、会津支部長）梶屋和久（アークズ会津）糸井和幸（糸井熱機、相双支部長）木幡安（コハタ）
▽監事＝先崎良博（文化設備工業）上西皓恒（入三機材・員外）

第19期役員体制決定

■ 総務委員会(委員8名)			
担当副会長	有賀 行秀	委員長	高橋 良行
副委員長	糸井 和幸		
高橋 良行	(高橋設備工業所)	坂本 憲弘	(大倉工業所)
古川 敏博	(光和設備工業所)	蛭田 光俊	(山崎設備)
大越 健一	(大越工業所)	安部井省治	(ハッ橋設備)
小板橋直史	(小板橋工業所)	糸井 和幸	(糸井熱機)
■ 経営委員会(委員5名)			
担当副会長	大内 弘之	委員長	梶屋 和久
副委員長	先崎 良博		
先崎 良博	(文化設備工業)	梶屋 和久	(アークズ会津)
芳賀 久雄	(芳賀設備工業)	小黑 敬三	(小黑設備工業)
遠藤 真隆	(いわきエアコン)		
■ 技術委員会(委員8名)			
担当副会長	大内 弘之	委員長	渡邊 勝彦
副委員長	倉島 央樹	副委員長	藤井 政弘
倉島 央樹	(倉島設備)	藤井 政弘	(関彰エンジニアリング)
伊藤 栄一	(東日本ユニットサービス)	久田 貢	(久田設備工業)
渡邊 勝彦	(石田工業所)	齋藤 匡司	(興栄設備)
大塚 淳史	(大塚設備)	木幡 安	(コハタ)
■ 広報委員会(委員5名)			
担当副会長	有賀 行秀	委員長	山田頭一郎
大浪 喜宗	(オオナミ)	成瀬 亨	(東邦工業)
山田頭一郎	(山田設備工業)	伊藤 隆博	(伊藤冷機工業)
鈴木 啓伸	(クレハ設備)		

懇親会
復興・再生へ貢献
「一丸で」誓い新た



県土づくりへの貢献を誓って懇談した懇親会。負荷の少ない建築を目指し、活力ある新生ふくしまの実現にしっかりと取り組む」と述べ、本県の再生と地方創生に向けて会員の協力を求めた。

吉田栄光県議会議長は「本県が復興の歩みをさらに加速させていくためには、県民の安全安心を支える社会生活基盤の整備が何より重要。優れた技術力と創造性を備えた協会会員の一層の力添えが不可欠だ」とし「ふるさとふくしまの復興・再生にさらに尽力してほしい」と呼びかけた。

太田光秋自民党県支部連合会幹事長の発声で乾杯、懇談した。太田幹事長は、発災からこれまでの協会の尽力に改めて謝意を示した上で「これから本県の復興・創生にとって大切な時期になる。新生ふくしま実現へ引き続き協力してほしい」と訴えかけた。

総会後、来賓と賛助会員の多数を交えて懇親会を開いた。

松原会長があいさつし、協会活動への支援、設備業界の大きな使命であり、地球環境保全の一翼を担う者として省エネ、新エネルギー技術などを駆使、再生可能エネルギーを推進して、低炭素社会の実現に積極的に取り組む」と訴えた。

来賓の村井弘道県土木部建築担当次長が祝辞で「震災から7年余が経過し、復興の光が着実な広



祝辞を述べる村井次長(右)と吉田議長(左)。

働き方改革など重点に
日空衛
80周年、節目の総会



長谷川会長

当協会が加盟する日本空調衛生工業事業協会(長谷川勉会長)は5月23日、東京・帝国ホテルで創立80周年記念・第70回定時総会を開いた。中期ビジョン「日空衛2015」を基本に、働き方改革など8つの重点取り組みを盛り込んだ30年度事業計画を承認した。

引き継ぐため「新たな時代の要請を謙虚に受け止めて、一層、努力・精進していきたい」と力を込めた。

事業計画では、3月にまとめた「働き方改革の推進に関する行動計画」



働き方改革への取り組みなど事業計画を決めた総会。

支部総会

■ 県北支部

5月18日、福島市のホテル辰巳屋で開いた。大内弘之支部長を再任。会員21人が出席。大内支部長が「公共事業が先行き不透明となる中、受注量の確保に努めてきた。30年度も相互連携を深め、支部運営に努める」とあいさつした。

30年度事業計画は①建設設備工事の分離発注の陳情②技術力の向上および経営体質の強化③友好団体との連携強化④リニ

5月15日、いわき市平のいわきワシントンホテル椿山荘で開催。役員改選では坂本憲弘支部長を再選した。会員8人が出席。坂本支部長が「県、UR発注

5月17日、福島市飯坂の温泉の祭屋湯左衛門で開いた。5月17日、福島市飯坂の温泉の祭屋湯左衛門で開いた。5月17日、福島市飯坂の温泉の祭屋湯左衛門で開いた。

■ 県中・県南支部

5月11日、郡山市の郡山市管工事会館で開き、役員改選で新支部長に根

■ いわき支部

5月15日、いわき市平のいわきワシントンホテル椿山荘で開催。役員改選では坂本憲弘支部長を再選した。会員8人が出席。坂本支部長が「県、UR発注

■ 会津支部

5月17日、会津若松市の萬花楼で開催。役員改選では安部井省治支部長を再選した。町村首長

5月17日、会津若松市の萬花楼で開催。役員改選では安部井省治支部長を再選した。町村首長

遵守と企業の社会的責任を果たす事業運営を徹底しよう③「働き方改革」に正面から取り組み、未来を担う技術者・技能者の確保・育成に努めよう④生産性の向上を推進し、品質・安全と適正な施工体制の確保に努めよう⑤空調衛生設備の重要性と「直接発注(分離発注)」の有効性を強くアピールし、「機械設備一式工事」又は「空調衛生工事」の実現を目指す5項目⑥省エネルギー及び省CO2に積極的に取り組み、低炭素社会づくりを通じて地球環境の保全を推進しよう⑦法令の

より良い建設生産システム構築へ
県建設産業団体連合会(小野利廣会長)の第34回通常総会は6月5日、福島市のホテル辰巳屋で開いた。30年度の重点目標として①復興・創生期事業への積極的協力②公共事業の計画的・安定推進③品確法に準拠した入札制度や設計積算の推進④元・下関係等適正な生産システムの推進⑤働き方改革への対応と技能労働者等の入職・育成・定着の推進⑥i-Construct

i-Constructの推進とドローン活用調査・研究など9項目を設定した。総会の席上、小野会長があいさつ。専門工業者を中心とした技術・技能者不足、建設生産システムの適正化、公共工事の確保、働き方改革など課題改善に努めるものとし、建設キャリアアップシステムの適切な運用的な確保推進③品確法に準拠した入札制度や設計積算の推進④元・下関係等適正な生産システムの推進⑤働き方改革への対応と技能労働者等の入職・育成・定着の推進⑥i-Construct



休憩室

この4月から南会津建設事務所に着任しました助川と申します。私は9年前にも南会津地域で勤務しており、今回で2度目となります。南会津地域は自然が豊かで美しい、食べ物も美味しい、地域の人達の心がとても温かい、そしていかに暮らす10歳の一人娘が生まれ育った場所でもあることから、第二の故郷と思っており、この地域のために精いっぱい仕事していきたいと思っています。さて、私の

勤める南会津合同庁舎は、南会津町田島のシンボルである愛宕山の麓にあり、田島中心部を一望できる場所にあります。そして私の机は3階北側にあり、椅子に座ると背面には大きな窓、そこからの眺めはこの時期最高です。毎朝、出勤し窓を開けると、爽やかな緑の風が入り、時折カッコウの鳴き声も聞こえ、高原リゾート地にでも来ているかと錯覚するほどの良い環境です。大きな窓の東側は二岐山や小野岳、西側に目を移すと昭和村に続く山並み、その手前には赤い屋根、薄いブルーの外壁、こげ茶色の柱とベランダが特徴の2階建て木造建物が

見ることが出来ます。この建物、明治18年に建築された西洋館に南会津郡役所(奥会津歴史民俗資料館)です。擬洋風建築の建物で、正面中央にベランダ、ギリシャ建築を思わせる円柱、城郭を感

た。館内は気品ある和洋折衷の部屋が続き、天井が高く、こげ茶色の窓枠と漆喰の白壁のコントラストが目につきます。また、当時の郡長室が見られるほか、郡役所の変遷や鳴山城遺跡の出土品、南山御蔵入の百姓一揆騒動に関する歴史資料なども展示紹介されています。館内資料によると、南会津と会津若松が馬車道によって結ばれた会津三万道路の開通で、地元では新時代を迎えた南会津郡にふさわしい庁舎建設の

機運が高まり、有志達が県に対して郡役所新築を要望、当時の工費七千七百円のうち、四千七百円を郡民寄付によって、県内最大規模の郡役所新築を実現したとのこと。明治初期に建てられ

残るこれらの建物は、どれも個性的で魅力的です。県内にも西洋館は、猿田代町の天鏡閣、郡山市の旧県尋常中学校(安積高校)、桑折町の旧伊達郡役所、白河市のJR白河駅など状態良く残っておりま

す。西洋館が好きになるきっかけは、学生時代に住宅製図の課題で、建物の外観イメージを考えるため図書館で参考書を探している中で偶然、西洋館の写真集を手にし、その屋根や窓の形、外壁の色遣い、細部へのこだわりに魅了されたからです。ちなみに製図の課題では、北九州市にある西洋館、1階はモルタル仕上げの石造風、2階はハーフィンバ

ー様式、連続アーチの開口、外部の色遣いなどが特徴の旧松本健次郎邸(西日本工業倶楽部)をまねて住宅設計を仕上げました。模範型作り、先生に褒められたことが思い出として残っております。

幕末に開国した日本では、横浜、長崎、神戸の開港場に外国人のための居留地が設けられ、長崎のグラバー邸に代表される西洋建築物が建てられました。開港場に今まで見たこともない西洋建築が数々現れると、全国の棟梁、大工は新しい建築を学ぼうと、その場に出向き、地元に戻るまでの伝統工法を用いながら、見よう

が、150年以上経つが、西洋館の始まりと残っているということ



技術力向上を図り、無災害を改めて誓った研修会、大会

県総合設備協 技 術 研 修 会

再エネ、省エネ施策学ぶ

無災害へ 決意新たに大会も

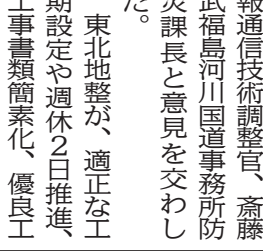
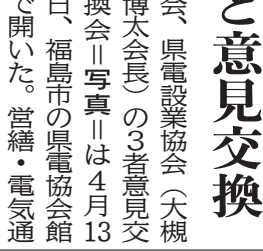
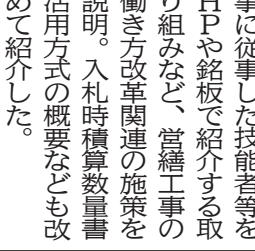
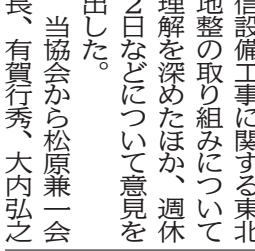
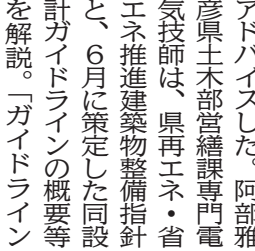
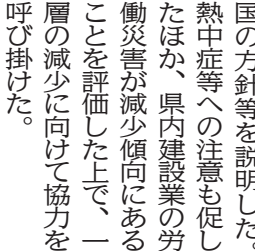
県総合設備協会は7月12日、郡山市のビッグパレットふくしまで30年度安全大会・技術研修会を開いた。当協会、県電設業協会の現場担当者ら125人が参加した。大内弘之当協会副会長

が「大会と研修会で学んだことを、安全管理・現場運営と顧客が満足する設備の提供に生かしてほしい」とあいさつした。安全大会では、高橋貴大福島労働局労働基準部

健康安全課安全衛生係長が「建築物に係る労働者の石綿ばく露防止に関する最近の政策動向」と題して講話。建築物解体工事の増加に備え、石綿ばく露防止対策を強化する国の方針等を説明した。熱中症等への注意も促したほか、県内建設業の労働災害が減少傾向にあることを評価した上で、一層の減少に向けて協力を呼び掛けた。

東日本ユニットサービス(株)の阿部裕也さんが安全宣言し、30年度全国安全週間スローガン「新たな視点でみつめる職場 創意工夫で安全管理 惜しまぬ努力で築くゼロ災害」を全員で唱和した。

技術研修会では、佐久間良典県出納局工事検査課専門工事検査員が29年度の工事検査結果を説明した。不適切工事の事例等を通して、設備工事の品質を向上させる留意点をアドバイスした。阿部雅彦県土木部営繕課専門電気技師は、県再エネ・省エネ推進建築物整備指針と、6月に策定した同設計ガイドラインの概要等を解説。「ガイドライン

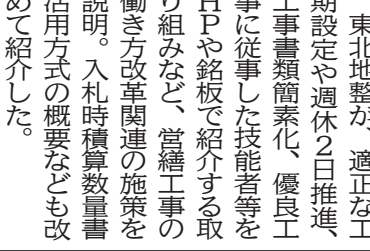
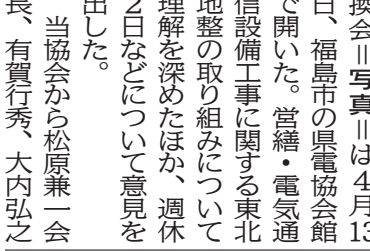


適正工期、週休2日推進など

東北地整と意見交換

東北地方整備局と当協会、県電設業協会(大槻博太会長)の3者意見交換会Ⅱ写真Ⅱは4月13日、福島市の県電設協会館で開いた。営繕・電気通信設備工事に関する東北地整の取り組みについて理解を深めたほか、週休2日などについて意見を

出た。当協会から松原兼一会長、有賀行秀、大内弘之



は、2040年度ごろを目標に県内エネルギー需の100%相当以上の再生可能エネルギーを生み出す県の目標を達成すると訴えた。

副会長、電設業協会から大槻会長、八巻正隆、永井博副会長はじめ両協会支部長らが出席。東北地整の神鳥博俊営繕部設備技術対策官、佐藤雅之営繕部保全指導・監督室長、垣原清次企画部情報通信技術調整官、斎藤武福島河川国道事務所防災課長と意見を交わした。

東北地整が、適正な工期設定や週休2日推進、工事書類簡素化、優良工事に従事した技能者等をHPや銘板で紹介する取り組みなど、営繕工事の働き方改革関連の施策を説明。入札時積算数量書活用方式の概要なども改めて紹介した。

【試験日程】▽推薦入学＝10月5日（出願期間9月21日～28日）▽一般入学＝11月9日（同10月29日～11月2日）▽一般2次＝12月14日（同12月3日～7日）